プレスリリース

2021年11月2日

KYOTO STEAM
－世界文化交流祭－

広報に関するお問い合わせ

KYOTO STEAM －世界文化交流祭－ 実行委員会事務局　担当：皆越（みなごえ）・山本

TEL：075-752-2212　Email: info@kyoto-steam.org

公式WEB　@kyoto_steam　kyotosteam_official

KYOTO STEAM －世界文化交流祭－ 実行委員会
（事務局：京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1京都市国際交流会館内
TEL：075-752-2212 FAX：075-752-2233 Email:info@kyoto-steam.org

京都市 CITY OF KYOTO　文化庁 令和3年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業　日本博 JAPAN CULTURAL EXPO 令和3年度文化資源活用推進事業　ARTS for the future!　文化庁京都へ

KYOTO STEAMとは

アート×サイエンス・テクノロジーをテーマに、未来志向で革新的なプロジェクトにより構成されるフェスティバル。「世界の未来に希望が持てる社会を構想し発信すること」をビジョンとし、フェスティバルの起点となった〈KYOTO CULTIVATES PROJECT〉の理念「京都は耕す、育む、磨く」を体現する祭典を目指しています。
アーティスト、科学者や研究者、職人や技術者、さらには子どもから大人までが参画し、企業や大学・研究機関と連携して、多彩なプロジェクトを進めており、その成果やプロセスを、展覧会、公演、トーク、ワークショップなどの形で発表します。

※STEAMとは…Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Arts（芸術）、Mathematics（数学）

〈KYOTO CULTIVATES PROJECT〉
産業革命以来の人類の進歩は、地球温暖化や巨大災害により生存が脅かされ、宗教対立やテロなどにより人類の間で分断が進むなど行き詰まりを見せています。また、文明の進歩が人類に幸福をもたらすという素朴な期待は、ITの発達により深刻なリスクと背中合わせであることが一般的な認識となり、未来への懐疑も深まっています。こうした中で、長年にわたり多くの自然災害に見舞われ、幾多の戦乱に巻き込まれながらも、古代からの文化が途絶えることなく承継されている京都が、東洋的な自然と人間との共生や日本的な宗教的寛容という土壌の下で、新たな未来に向けて現在の営み及びその源泉となるものを耕し、育み、磨くこと（CULTIVATES）が現在、改めて求められています。本プロジェクトを通じて、世界の未来に希望が持てる社会を京都そして日本から構想し、発信します。

主　催

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
評議会議長　門川大作（京都市長）
評　議　員　青木　淳（京都市京セラ美術館館長）
赤松玉女（京都市立芸術大学学長）
堀場　厚（(公財)京都市音楽芸術文化振興財団理事長）
プロデューサー　平竹耕三（京都産業大学文化学部京都文化学科教授）

1_参画団体
京都市、京都市立芸術大学、京都市京セラ美術館、京都市動物園、（公財）京都市芸術文化協会、（公財）京都市音楽芸術文化振興財団、（公財）京都高度技術研究所、京都商工会議所、京都経済同友会、日本放送協会京都放送局、京都新聞社、カルチュア・コンビニエンス・クラブ（株）

2_プラチナパートナー
近畿日本鉄道（株）、京阪電気鉄道（株）、（株）島津製作所、ソニーグループ（株）、西日本旅客鉄道（株）、NISSHA（株）、パナソニックシステムソリューションズジャパン（株）、阪急電鉄（株）、MUTEK.JP

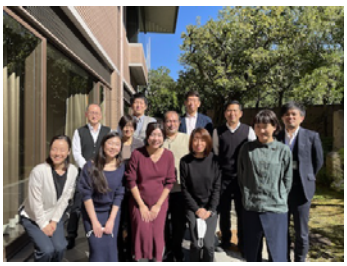
3_ゴールドパートナー
(一財)ニッシャ印刷文化振興財団、（株）フェニクシー、（株）堀場製作所、（株）ユニオン

4_パートナー
アクチュアル（株）、（株）井筒企画、Image Club、ヴィラ九条山、（株）エフエム京都、（株）片岡製作所、カルチュア・コンビニエンス・クラブ（株）、京とうふ藤野（株）、（株）京都銀行、京都信用金庫、KYOTO's 3D STUDIO（株）、京都大学学際融合教育研究推進センター、京都中央信用金庫、（株）グランマーブル、（株）江寿、COHJU contemporaty art、(独法) 国際交流基金京都支部、国立研究開発法人 理化学研究所 植物－微生物共生研究開発チーム、国立病院機構 新潟病院臨床研究部 医療機器イノベーション研究室、Konel、(一財)三洋化成社会貢献財団、（株）SeedBank、（株）進々堂、（株）SCREENホールディングス、（株）大丸松坂屋百貨店、宝酒造（株）、タキヤ（株）、日本たばこ産業（株）、（株）山岡白竹堂、（株）ピエクレックス、福田金属箔粉工業（株）、（株）藤井大丸、（株）フジックス、（株）丸久小山園、(有)丸重屋、mui Lab（株）、（株）緑寿庵清水、Whatever Inc.

4_サポーター
(学)瓜生山学園 京都芸術大学、京セラ（株）みなとみらいリサーチセンター、京都市青少年科学センター、（大）京都市立芸術大学、(公財)京都伝統伎芸振興財団、(一社)STEAM Association

事務局

KYOTO STEAM- 世界文化交流祭 - 実行委員会事務局は、平竹耕三プロデューサーのもと、参画団体である京都市から 5 名、（公財）京都高度技術研究所から1名、(公財)京都市芸術文化協会から 2 名、フリーランスのアート・コーディネーター3名で構成されており、その他、プロジェクトの内容により、外部の専門スタッフの参加を得ながら運営しています。



1

Sony Design
ONE DAY, 2022/2050 Sci-Fi Prototyping

概　　要　：　ソニーのデザイン部門は今年で60周年を迎えました。これを記念し『ONE DAY, 2022/2050 Sci-FiPrototyping』展を開催いたします。ソニーの最先端技術を詰め込んだAI×Roboticsカテゴリーを中心とした、デザイナーとエンジニアが創る「2022年のリアル」と、デザイナーとSF作家がコラボレーションし、Sci-Fiプロトタイピングの手法を用いて描き出したその先の「2050年のありうる未来」。いつかどこかで交差するかもしれない2つの世界のデザインクリエーションをご体感ください。

開催日時　：　2021/12/18(土)-2022/1/9(日)10-18時　※12月27日-1月1日は休展

会　　場　：　ロームシアター京都 ノースホール

料　　金　：　無料

申　　込　：　不要

Supported by　：　ソニーPCL Inc.
Special Thanks　：　WIRED サイファイプロトタイピング研究所

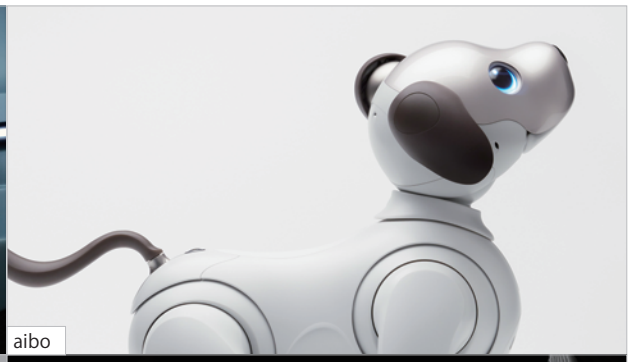
ウェブサイト　：　https://www.sony.com/ja/SonyInfo/design/news/event/oneday2022_2050

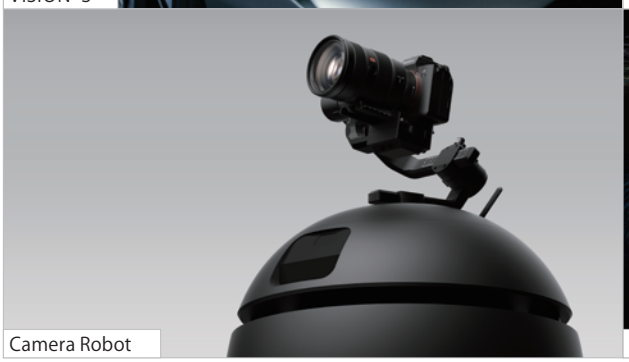
1

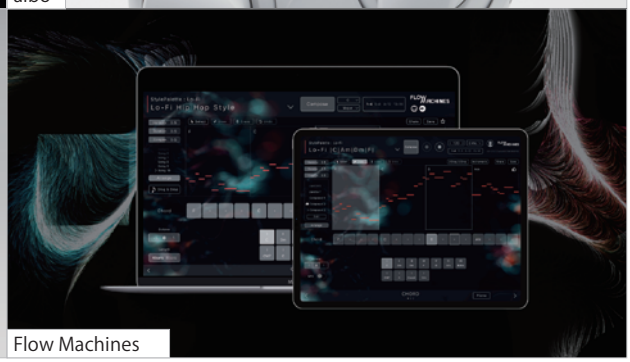
Sony Design

ONE DAY, 2022/2050 Sci-Fi Prototyping

VISION-S

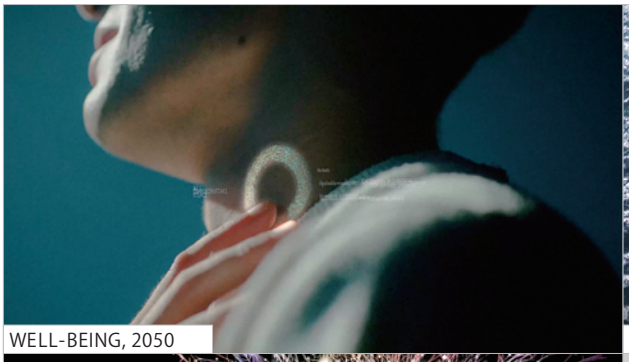

aibo

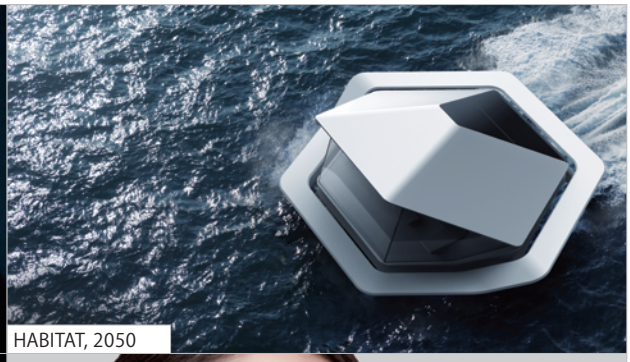

Camera Robot


Flow Machines

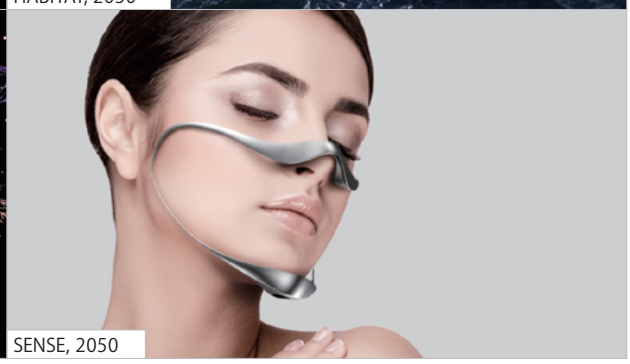
<ONE DAY, 2022>

「クリエイティビティとテクノロジーの力で、世界を感動で満たす」というPurposeのもと、ソニーの事業ポートフォリオは常に進化を続けています。新たな注力領域であるAI x Robotics分野においても、ソニーのデザイナーとエンジニアは日々新たな挑戦に取り組んでいます。「2022のリアル」のエリアでは、その現在進行形のプロダクトとサービスをご紹介いたします。


WELL-BEING, 2050


HABITAT, 2050

LIFE, 2050


SENSE, 2050

<ONE DAY, 2050>

ソニーのデザイナーとSF作家がコラボレーションし、Sci-Fiプロトタイピングの手法を用いて「2050年の東京」を描き出しました。「WELL-BEING」「HABITAT」「SENSE」「LIFE」の4つのテーマに基づき、ソニーのデザイナーは「デザインプロトタイピング」を、SF作家は「SF短編小説」を創出しました。今回展示する「デザインプロトタイピング」は各テーマの世界観に寄り添うサービスやプロダクトの提案です。

2 アメノシタ・パビリオン

概　　要：KYOTO STEAM全体のシンボルとして、ロームシアター京都の屋外空間ロームスクエアに、建築家・藤本壮介氏による新作となるパビリオンを展示します。人が集まり、憩うことのできる機会は、コロナ禍にある私たちにとって、これまでとは違った意味や価値を持つでしょう。
古来日本では、宇宙のことをアメノシタと訓読していたといいます。大きな屋根の下に広がる世界。ほんの短い間ですが、自然と人工物、自然と人の間にあるエネルギーや季節のゆらぎを体感できる空間を創出します。

開 催 日 時：2021年12月18日（土）～12月26日（日）10:00～20:00
会　　場：ロームシアター京都ロームスクエア
対　　象：どなたでも
料　　金：無料
申　　込：不要　※内部への入場はお待ちいただく場合があります。

設　　計：藤本壮介建築設計事務所

photo by David Vintiner

藤本 壮介　Sou Fujimoto

1971 年北海道生まれ。東京大学工学部建築学科卒業後、2000 年藤本壮介建築設計事務所を設立。2014 年フランス・モンペリエ国際設計競技最優秀賞（ラルブル・ブラン）に続き、2015、2017、2018 年にもヨーロッパ各国の国際設計競技にて最優秀賞を受賞。国内では、2019 年、津田塾大学小平キャンパスマスタープラン策定業務のマスターアーキテクトに選定、2020 年、2025日本国際博覧会の協会事務局会場デザインプロデューサーに就任。2021 年には大分空港海上アクセス旅客ターミナル建設工事基本・実施設計業務 最優秀者に選定される。
主な作品に、ロンドンのサーペンタイン・ギャラリー・パビリオン 2013（2013 年）、House NA（2011 年）、武蔵野美術大学 美術館・図書館（2010 年）、House N（2008 年）等がある。

3

アート×サイエンス IN 京都市動物園
アートで感じる？チンパンジーの気持ち

概　　要：ヒトにとってアートとは何か。ヒトに最も近い動物であるチンパンジーに寄り添い、アーティストと研究者がこの根源的な問いに迫るプログラム。
4年目となる今年度は、チンパンジーの動きをセンサーで探知し、それによって変化する映像を制作しました。映像は観覧通路全体に投影され、来園者にも新鮮な鑑賞体験をもたらすアート空間が出現します。世界的にも希少な環境エンリッチメントへの挑戦にぜひご注目ください。

開 催 日 時：2021年12月18日（土）～12月26日（日）10:00～15:00　※20日（月）休園日
会　　場：京都市動物園　類人猿舎屋内観覧通路
料　　金：無料（ただし、入園料は必要）
申　　込：不要

■ミニトーク

開 催 日 時：2021年12月18日（土）11:30～／12月19日（日）13:30～★
12月25日（土）13:30～／12月26日（日）13:30～（各回30分）
★京都市動物園公式Instagramにて配信のため、予約受付はございません。
会　　場：京都市動物園　レクチャールーム
対　　象：どなたでも
料　　金：無料（ただし、入園料は必要）
定　　員：各回20人（先着順）
申 込 方 法：KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会事務局
TEL. 075-752-2212　FAX. 075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org
「①氏名（ふりがな）②電話番号 ③メールアドレス ④人数 ⑤参加希望日」をお知らせください。
申 込 受 付：開催日前日まで（空きがあれば当日参加可）

■発表会

開 催 日 時：2022年2月5日（土）14:00～16:00
会　　場：京都市動物園　レクチャールーム
対　　象：中学生以上
料　　金：無料（ただし、入園料は必要）
定　　員：40人
申 込 方 法：KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会事務局
TEL. 075-752-2212　FAX. 075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org
「①氏名（ふりがな）②電話番号 ③メールアドレス ④人数 」をお知らせください。
申 込 受 付：2022年1月31日（月）まで（空きがあれば当日参加可）

■メンバー

坂本 英房（京都市動物園園長、KYOTO STEAM －世界文化交流祭－ 実行委員会チーフディレクター）
青木 陵子 ＋ 伊藤 存（アーティスト）
山梨 裕美（京都市動物園 生き物・学び・研究センター主席研究員）
吉田 信明（公益財団法人京都高度技術研究所主任研究員）
一方井祐子（金沢大学人間社会研究域人間科学系准教授）
岩城 覚久（近畿大学文芸学部文化デザイン学科准教授）
狩野 文浩（Juniorgroup leader, The Center for the Advanced Study of Collective Behavior（CASCB）,University of Konstanz, Konstanz, Germany）

昨年度の様子

4 NAQUYO －平安京の幻視宇宙－
KYOTO STEAM in collaboration with MUTEK.JP

概　　要：KYOTO STEAM－世界文化交流祭－では、最先端テクノロジーを用いた電子音楽とデジタルアートの祭典「MUTEK」を主催するMUTEK.JPと連携し、2020年度～2021年度の2箇年度に渡る共同アート・プロジェクト「NAQUYO－平安京の幻視宇宙－ KYOTO STEAM in collaboration with MUTEK.JP」に取り組んでいます。
2021年度は、新規の音素材や、新たなコラボレーターと最新の立体音響技術を融合させ、空間全体を使ったインスタレーションとライブ・パフォーマンスを実施します。
「平安京のサウンドスケープ」を全身で味わう新鮮な感覚や音の響き、さらにそこから湧き上がる心象風景を存分にお楽しみいただけます
※MUTEK.JP…最先端テクノロジーを用いた音楽とデジタルアートの祭典「MUTEK」を主催する国際的な文化芸術の団体。

■NAQUYO Immersive Sound Installation

かつて平安京を包みこんでいたであろう音空間を、最新の立体音響システムを用いてバーチャルに再創造します。梵鐘の音に代表される平安の音とデジタルアートを組み合わせたイマーシブ（没入型）空間に身を置き、平安京サウンドスケープを全身でご体感ください。

開催日時：2021年12月23日（木）、24日（金）各日16:30～／17:00～／17:30～／18:00～／18:30～／19:00～（鑑賞は15分間）
会　　場：ロームシアター京都 サウスホール
※舞台上での鑑賞となりますので、靴を脱いでご覧いただきます。
出　　演：Kazuya Nagaya（Audio）＋Junichi Akagawa（Visual）
対　　象：小学生以上
定　　員：各回30人
料　　金：無料（全席自由）
申込方法：各日16:00から、現地にて申込受付開始（先着順）
制作協力：京都芸術大学 歴史遺産学科

■NAQUYO Immersive Sound Live Performance

イマーシブ（没入型）なインスタレーション空間の中に観客席と舞台を構成。最先端の電子音楽、デジタルアート、雅楽（笙）、コンテンポラリーダンスなどを融合させたライブ・パフォーマンスを実施します。

開催日時：2021年12月25日（土）14:00～16:00／18:00～20:00（各回開場30分前）
会　　場：ロームシアター京都 サウスホール
※舞台上での鑑賞となりますので、靴を脱いでご覧いただきます。
出　　演：Kazuya Nagaya（Music）＋Katsuhiko Orii（Shō“笙”）
Junichi Akagawa（Music, Visual）＋ nouseskou（Dance）
対　　象：小学生以上
定　　員：各回100人（全席自由）
料　　金：前売一般 1,000円／中学生以下 無料　※要証明書呈示
購入方法：オンラインチケット（24時間購入可）
京都コンサートホール チケットカウンター　TEL. 075-711-3231
ロームシアター京都 チケットカウンター　TEL. 075-746-3201
※中学生以下の無料チケットについては事務局までお申し込みください。
購入期間：2021年11月18日（木）～12月24日（金）19:00（売り切れ次第販売終了）

昨年度のパフォーマンスの様子

4 NAQUYO －平安京の幻視宇宙－
KYOTO STEAM in collaboration with MUTEK.JP

[NAQUYO プロジェクト]

2021年度活動：
8月11日（水）　フィールド・レコーディング in 大原地区（勝林院）
NAQUYO Educationプログラム#1 実施
9月26日（日）　フィールド・レコーディング in 糺の森（賀茂御祖神社）
NAQUYO Educationプログラム#2 実施
9月27日（月）　フィールド・レコーディング（高台寺・法然院）
10月22日（金）　NAQUYO #5 オンライン・トークプログラム「平安遷都の日2021－平安宇宙の「音」を聴く－」
11月6日（土）　NAQUYO Creative Workshop　－音楽制作ワークショップ－
11月14日（日）　NAQUYO Creative Workshop　－映像制作ワークショップ－
12月23日（木）～24日（金）　NAQUYO #6 NAQUYO Immersive Sound Installation
12月25日（土）　NAQUYO #6 NAQUYO Immersive Sound Live Performance

メンバー：
谷崎 テトラ（放送作家、KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会チーフディレクター）
長屋 和哉（サウンドアーティスト）
赤川 純一（オーディオビジュアルアーティスト）
岩波 秀一郎（MUTEK.JP代表）
竹川 潤一（MUTEK.JPクリエイティブディレクター）
Maurice Jones（MUTEK.JPアーティスティック＆コミュニケーションディレクター）

アドバイザー
中川 真（サウンドアート研究者、大阪市立大学都市研究プラザ特任教授）
渡辺 広之（京都芸術大学芸術教養センター客員教授）

フィールド・レコーディング in 大原地区 & NAQUYO Education プログラム #1【2021.8.11】

天台声明（勝林院）

平安期鋳造の梵鐘（勝林院）

音無しの滝

フィールド・レコーディング in 糺の森・寺院 & NAQUYO Education プログラム #2　【2021.9.26-27】

糺の森（賀茂御祖神社）

梵鐘収録（高台寺）

5 OKAZAKI MARKET+

私たちの暮らしに身近なものを切り口に、アート×サイエンス・テクノロジーを気軽に体感できるマーケット。こだわりの本やコーヒー、食べ物や雑貨のお店はもちろん、誰でも気軽に参加できるレクチャーや展示企画、このコロナ禍を乗り切るきっかけの力となるトークセッションなど、多彩なプログラムを実施します。

■OKAZAKI MARKET＋催し物一覧

Ⅰ　参加型プログラム「幸福を呼ぶ新しいいきものの園」

あなたや誰かを幸せにしてくれる「幸福を呼ぶ新しいいきもの」を想像して描いてみましょう。みんなが描いた「いきもの」たちをディスプレイ上に解き放ち、みんなにとっての幸せが集まる「園」を作ります。幸福をもたらす「いきもの」を通して、自身や他者にとっての「幸せとはなにか」を考え、未来を想像してみましょう。

日時：12 月 25 日（土）、26 日（日）各 10:00 ～ 16:00
会場：ロームシアター京都 プロムナード〈北側〉
対象：どなたでも（ミニレクチャーは小学生以上）
料金：無料
申込：不要（ミニレクチャーは予約優先）
協力：京都市青少年科学センター、京都市動物園

実際の展示形態とは異なります。

実施方法
（1）「幸福を呼ぶ新しいいきもの」を想像して紙に描いていただきます。
（2）描いた「いきもの」のイラストをデジタルデバイスでスキャンすると、ディスプレイ上で「いきもの」が動き出します。
（3）ディスプレイ上にたくさんの「いきもの」が集まる園を作りましょう。

Ⅱ　「幸福を呼ぶ新しいいきものの園」ミニレクチャー

「幸福を呼ぶ新しいいきもの」を描いていただくに当たり、想像力を刺激するミニレクチャーを開催します。アートやサイエンスの専門家による “いきもの” についてのお話と、事前に受け付けた質問にお答えします。

○「やさしいようかい」12 月 25 日（土）10:00 ～ 11:00
講師：河野 隼也（妖怪藝術団体百妖箱代表）
一口に妖怪と言っても、姿も性格も様々ですこのレクチャーでは、優しい性質・性格の妖怪をピックアップして紹介します。

○「美術のなかのミラクルないきものたち」12 月 25 日（土）11:30 ～ 12:30
講師：永島 明子（京都国立博物館 教育室長 兼 工芸室勤務 漆工担当）
古今東西、美術作品には、特別な力を持ったいきものたちが描かれてきました。
このレクチャーでは、日本の美術作品に描かれたミラクルないきものたちを紹介します。

○「恐竜を描いてみる」12 月 26 日（日）10:00 ～ 11:00
講師：川崎 悟司（イラストレーター／ウェブサイト「古世界の住人」運営者）
恐竜はどんな姿をしていたのでしょうか？手は？シッポは？ツメは？このレクチャーでは、恐竜の体の細部を観察しながら、実際に恐竜の絵を描いてみます。」

○「SF に見る未確認生命体」12 月 26 日（日）11:30 ～ 12:30
講師：木村 大治（京都大学名誉教授／宇宙人類学者）
実在が確認されていない生物、「未確認生命体」。まだ見ぬ彼らはどんな存在なのでしょうか。このレクチャーでは、SF 作品に描かれた未確認生命体たちを紹介します。

会場：ロームシアター京都　プロムナード〈北側〉
対象：小学生以上　定員：各回 20 名（先着順・予約優先）　料金：無料
申込：11 月 2 日（火）～ 12 月 23 日（木）17:00 までに、必要事項を公式 web の応募フォームもしくは FAX（075-752-2233）で送信。
〈必要事項〉①ご希望のミニレクチャー名　②氏名　③ふりがな　④メールアドレス ⑤電話番号

■ 連携企画

○おいしい旅のマーケット　クリスマス特別編　in Okazaki
コーヒーやお菓子、クラフトの人気店が大集合！おいしい食べ物や素敵な物、人との出会いが詰まったマーケットです。
日時：12 月 24 日（金）、25 日（土）11:30 ～ 18:30
会場：岡崎公園

○平安蚤の市
骨董品や小道具、西洋アンティーク、昭和レトロな雑貨等、個性豊かなお店が集うマーケットです。
日時：12 月 26 日（日）9:00 ～ 16:00
会場：岡崎公園

Ⅲ 「きっかけの発見」トーク・プログラム（全３回）

「人類はいかにパンデミックに遭遇し、対処し、時代をそして生活を変化させてきたのか」をテーマとした、アーティストや様々な分野の専門家によるトークセッションです。

①“電気の繊維” PIECLEX の誕生ーもの・ことを生み出す力　12 月 25 日（土）10:30 ～ 11:50
専門領域の異なる㈱村田製作所・帝人フロンティア㈱の２つの企業がタッグを組み、共同開発された新しい素材、電気の繊維「PIECLEX」。始まりの経緯や開発中のコミュニケーション、お互いの知見以外に感化されたことなどのお話を伺い、人類がどのように新しいものを生み出してきたのかを考えます。
ゲスト：玉倉 大次（㈱ピエクレックス代表取締役社長）、竹下 皇二（㈱ピエクレックス取締役副社長）
ファシリテーター：平竹 耕三（KYOTO STEAMー世界文化交流祭ープロデューサー）

玉倉大次氏　竹下皇二氏

②ヒトと喜劇ー笑い合う力　12 月 25 日（土）14:00 ～ 16:00
私たち人間は、笑うことによって苦しみを乗り越えたり、明るい未来を引き寄せたり、状況が好転することを信じて意識的に笑うことがあります。このセッションでは、「笑い」を困難な状況を打破するきっかけとして捉え、ヒトの笑いの特徴を学ぶとともに、笑いを生み出す過程を体験することにより、笑いの活用方法を考えます。
ゲスト：　松阪 崇久（関西学院大学教育学部准教授）、村角 太洋（劇作家・演出家／ THE ROB CARLTON）
出　演：　満腹 満（俳優／ THE ROB CARLTON）、村角 ダイチ（俳優／ THE ROB CARLTON）
ファシリテーター：広瀬 依子（追手門学院大学上方文化笑学センター センター長）

（上左）松坂崇久氏　（上右）村角太洋氏
（下左）満腹満氏　（下右）村角ダイチ氏

③科学とまじないー願いを込める力　12 月 26 日（日）10:30 ～ 12:30
縁起物や占い等、超自然的・神秘的なものに働きかけ、種々の願望をかなえようとする行為「まじない（呪術）」は、科学が発展した現代でも、伝統行事で縁起物を飾るなど、日常生活の一部とてあります。このセッションでは、木札等の縁起物の成り立ちと自然環境との関わりや、創作物に描かれたまじないの有り様について、科学的見地を交えて考察することにより、人々が困難な事象に対し、まじないを活用し、どのように生活に取り入れてきたのかを考えます。
ゲスト：　岡野 玲子（漫画家）、三国 信一（新潟県立歴史博物館 主任研究員）
ファシリテーター：小林 昌廣（情報科学芸術大学院大学教授）

会場：ロームシアター京都 パークプラザ 3 階共通ロビー
対象：どなたでも
料金：無料
申込：11 月 2 日（火）～ 12 月 23 日（木）17:00 までに、必要事項を公式 web の申込フォームもしくは FAX（075-752-2233）で送信。
〈必要事項〉①参加希望のトークタイトル　②氏名　③ふりがな　④メールアドレス　⑤電話番号

岡野玲子氏　三国信一氏

Ⅳ KYOTO ART BOOK MARKET 2021.12

小さいながらもこだわりの詰まった魅力的な書店や、普段が店舗を持たない珍しい書店等が集うマーケットです。
日時：12 月 26 日（日）10:00 ～ 16:00
会場：ロームシアター京都 二条通り側オープンスペース、東側オープンスペース 他
企画：カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

KYOTO STEAM なぞかけラリー

実施期間：2021 年 12 月 18 日（土）～ 12 月 26 日（日）
会場：京都市動物園、ロームシアター京都、岡崎公園、平安神宮

KYOTO STEAM のテーマ「アート × サイエンス・テクノロジー」の「×（かける）」にちなみ、12 月中旬から下旬にかけて開催する KYOTO STEAM の各会場をめぐる「KYOTO STEAM なぞかけラリー」を開催します。
落語家の桂 紋四郎さんが考えた、KYOTO STEAM の各プログラムに因んだなぞかけの答えを、会場を巡りながら考えましょう！（オンラインでも参加可能です。）
※詳細は、11 月下旬に公式 web で公開予定です。

6 平安拾遺譚 cirque de kyoto

概　　要：現代につながる大衆芸能のルーツである「猿楽」の高いエンターテインメント性を活かした、京都ならではの現代的な芸能「cirque de kyoto（京都のサーカス）」の創作を通じて、平安時代から京都の人々が担ってきた文化創成のプロセスそのものの具現化に取り組むプログラム。古典文学のモチーフとしてきた『新猿楽記』『梁塵秘抄』。2つの文学作品に共通するテーマである「多様性」を表象するパフォーマンスが、平安京を象って創建された平安神宮・神苑を舞台に繰り広げられます。

開催日時：2021年12月26日（日）14:00～16:00　14時の開演以降、15時までにご入場ください。
会　　場：平安神宮 神苑（尚美館）※雨天時は、パフォーマンスの一部を変更して上演します。

対　　象：どなたでも
料　　金：無料　（開催期間中、神苑の拝観料〈通常 大人600円、小人300円〉が無料となります。）
申込方法：申込期間：11月2日（水）～12月23日（木）17：00
申込方法：必要事項を、申込フォームもしくはFAX(075-752-2233) で送信してください。（先着順）
〈必要事項〉①氏名、②ふりがな、③メールアドレス、④電話番号

スタッフ：脚本・演出：高橋 浩
古典芸能監修：小笠原 由嗣
サーカス監修：QUMIKO
舞台監督：伊藤 薫
音響：武田 雅典

出　　演：小笠原 由祠、小笠原 弘晃、青山 郁彦、クロワッサンサーカス
音楽：稲葉 明憲、三原 智行、遠山 貴志、イガキアキコ、小笠原 彩乃

協　　力：井筒グループ、京都府神社庁、平安神宮

平安神宮　神苑（国指定名勝）

明治時代の代表的な日本庭園として広く内外に知られている平安神宮神苑は、社殿を取り囲むように東・中・西・南の四つの庭からなっています。
神苑は、総面積約 33,000 ㎡（約 10,000 坪）の広大な池泉回遊式庭園で、明治の有名な造園家 7 代目小川治兵衛らの手になるものです。平安京千年の造園技法の粋を結集した庭園として、昭和 50 年 12 月に国の名勝に指定されています。
春の紅しだれ桜、初夏の杜若・花菖蒲、秋の紅葉、冬の雪景色と四季折々に風光明媚な趣を見せるとともに、神々しい風景を織りなす神苑は、人の手で造り出されてから 100 年以上という時を経た今日、大いなる自然の営みに触れることができ、訪れる人の心を平安へといざなってくれます。

7

HIxTO “bug”
ヒクト　バグ

概　　要：アーティストコレクティブHIxTO（ヒクト）による美術館の空間を用いた新作インスタレーションとパフォーマンス。
COVID-19により、私たちの生活様式は大きく変化し、生きることがひとつの物事で崩れ去ってしまうという事態を経験しました。このような突然の出来事は、予期せぬエラーとして現れる歴史上のバグであり、現在の私たちの行動はそのバグに対峙するための変化と言えるかもしれません。
本作では、そのような転換点ともなるバグと向き合い、生きることをあらためて思考し、そこから新たに創造することを試みます。「この作品は他者と共に生きることそのものである」というコンセプトのもと、今を生きるわたしたちの現在地を明らかにする作品です。

開催日時：（1）展示　2021年12月24日（金）10:00〜14:00、12月25日（土）13:00〜15:00、12月26日（日）10:00〜13:00
（2）パフォーマンス　2021年12月24日（金）16:00開演、12月25日（土）11:00開演・16:00開演、
12月26日（日）14:00開演　（各回60分予定）
会　　場：京都市美術館 別館2階

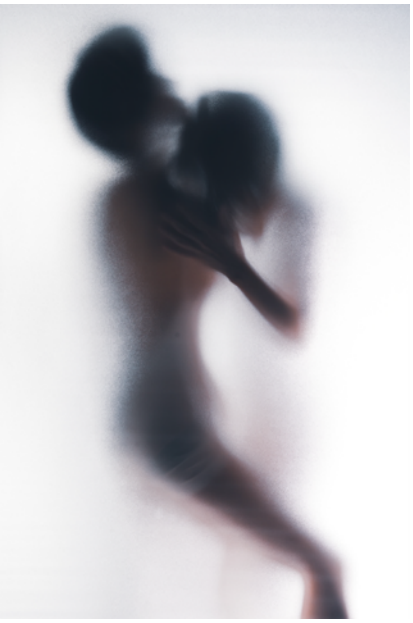
対　　象：どなたでも
料　　金：（1）展示：無料
（2）パフォーマンス：　1,000円・中学生以下無料　※当日同料金
購入方法：PassMarket、あるいは事務局への電話・FAX・e-mailにて申込（先着順）

出　　演：井場 美穂、川上 真、小堀 愛永、長尾 奈美、Kei Minoura

スタッフ：演出・振付：庄 波希
空間美術：新宅 加奈子

ドラマトゥルク：石本 興司
舞台監督：十河 陽平
ヘアメイク・衣装監督：NaO
広報・ドキュメンタリー映像監督：達富 航平
アイテム監修：ハルヒ
記録広報写真：松田 ミネタカ、空木 なぐさ
制作：當間 芽

協　　力：ヴィラ九条山、京都芸術センター
コンセプト・アドバイザー：シナパヤ・ラナ（株式会社ソニー・コンピューターサイエンス研究所）



2019年5月1日より始動。「ヒトとヒトがクロスする」ことを通して、身体から社会をデザインすることを目指すアーティスト・コレクティブ。プロジェクトごとに様々なアーティスト／クリエイターが協働し、身体から“感動と特別な時間”の創造を試み、HIxTOという新しいブランド（ジャンル）の確立を目指す。

庄 波希・新宅 加奈子

小堀愛永、川上真、井場美穂、長尾奈美、Kei Minoura

（参考）HIxTO “raw- 精神と肉体の展覧会 -” 2020

8 KYOTO STEAM 事業創発・未来フォーラム2022

概　　要：企業、アーティスト、大学等、アート×サイエンス・テクノロジーに関わる人材が集まるKyoto Cultivates Teamでは、1000年先まで続く「文化で未来を作る」をコンセプトに、STEAM（科学、技術、工学、芸術、数学）の専門家たちが、それぞれの専門領域を生かした意見を交わし、事業の創発に取り組んできました。
本フォーラムでは、創発された２つの事業プロジェクトの事業キックオフに加え、昨年度に事業キックオフした「KYOTO DAIRI PROJECT」2年目の活動報告を行います。

開 催 日 時：2022年1月21日（金）18：00～20：30
会　　場：オンラインLIVE配信（KYOTO STEAM公式YouTubeチャンネル）

プログラム：オープニング　Kyoto Cultivates Team活動成果報告
第　一　部　創発プロジェクト　事業キックオフ
（１）中今-center of past & future-
（２）よわみプロジェクト
第　二　部　KYOTO DAIRI PROJECT
『平安京にウグイスは啼いていたのか』

出　　演：オープニング
渡辺 広之（京都芸術大学芸術教養センター客員教授、
KYOTO STEAMー世界文化交流祭ー実行委員会事業創発部会長）

第一部
（１）北林 功（COS KYOTO㈱代表取締役、文化ビジネスコーディネーター）
谷崎 テトラ（放送作家、京都芸術大学客員教授）
（２）増田 修治（㈱電通京都支社営業部長）
倉増 京平（大阪大学大学院工学研究科招聘研究員）

第二部
１.挨拶
櫻井 繁樹（KYOTO DAIRI PROJECT実行委員会委員長）
２.プロジェクト・ロードマップ＆ロゴ発表
佐藤 慎一（KYOTO DAIRI PROJECT実行委員会事務局長）
３.基調講演
井上 満郎 氏（京都市歴史資料館館長、京都産業大学名誉教授）
講演テーマ　『国際都市としての平安京』
4.ディスカッション
井上 満郎 氏（前掲）
松浦 俊昭（壬生寺貫主、KYOTO DAIRI PROJECTメンバー）
平竹 耕三（京都産業大学文化学部教授、KYOTO DAIRI PROJECTメンバー）

対　　象：どなたでも
料　　金：無料
申　　込：不要

特 別 協 力：engawa KYOTO

9 学問の〈根・音・ね〉

概　　要：活動分野の異なる参画者が、対話を重ねながら、それぞれの専門分野の原点にある「問い」から現在に至るまでの歴史と、その連鎖を仮想空間等で可視化することを試みるプロジェクト。その道のりを振り返る公開振返り会を公開します。

専門性が高まれば矮小化する学術の世界。自らがどの流れを汲んでどこへ向かうのかを改めて確認し可視化することで、新しい思考を拓くことを試みます。「世界とは何か」、「物質とは何か」、「自分とは何か」。根本の問いから紡ぎ出された山のような問いの歴史と連関を、多分野の専門家が結集して徹底的に議論し、歴史のうちに今の自分の立ち位置を確認したいと考えます。多彩な参画者とともに9月から継続してきた勉強会を振り返り、「問い」の連なりを体感できる何かを発表します。

開催日時：2022年1月29日（土）14時～16時
会　　場：京都市京セラ美術館講演室

対　　象：どなたでも
定　　員：50名
料　　金：無料
予約方法：PassMarket、あるいは事務局への電話・FAX・e-mailにて申込（先着順）

出　　演：ファシリテーター
宮野 公樹(学者[学問論、大学論、科学技術政策])
参画者
手塚 愛子（現代美術家）
知久 宗洸（表千家茶道講師）
青羽 悠（小説家）
梅野 星歩（庭師）
木村 峻輔（医師・薬剤師）
澤崎 賢一（アーティスト・映像作家）
平川 美夏（生命誌研究者）
薬師川 千晴（画家・美術家）
米澤 高志（禅宗僧侶）

コーディネーター
佐藤慎一（京都大学創立125周年記念事業準備室総長特命補佐）
山本麻友美(KYOTO STEAM-世界文化交流祭-実行委員会)

10

KYOTO STEAM 2022
国際アートコンペティション

概　　要：アーティストと企業・研究機関が、対話を重ね制作した作品を展覧し、表彰する、日本で類を見ない形式の国際コンペティションです。
2020年度中に実施した公募にエントリーした41件の企業・研究機関と111件の作品プランの中から、審査会によって11組のアーティストと企業等の組合せを選抜しました。この11組が「アート×サイエンス・テクノロジー」の可能性を体現することを目指し、コラボレーションを行います。

開 催 日 時：2022年1月29日（土）～ 2月13日（日）10時～18時（入場は17時半まで）※月曜休館
会　　場：京都市京セラ美術館 新館 東山キューブ

料　　金：一般　1,000円(税込み) ／中学生以下無料
※京都市内に在住・通学の高校生は無料(学生証等の提示が必要)
※障害者手帳等を提示の方は、本人及び介護者1名無料

出　展　者：大西 康明 × 福田金属箔粉工業株式会社
金森 由晃 × 株式会社フジックス
金子 未弥 × 有限会社丸重屋
川松 康徳 × 国立研究開発法人理化学研究所植物-微生物共生研究開発チーム
興梠 優護 × 株式会社堀場製作所
佐藤 壮馬 × KYOTO's 3D STUDIO株式会社
Kikoh Matsuura × 株式会社島津製作所
三木 麻郁 × 国立病院機構新潟病院臨床研究部医療機器イノベーション研究室
三原 聡一郎 × mui Lab株式会社
宮田 彩加 × 株式会社SeedBank
山崎 阿弥＋マイケル・スミス-ウェルチュ ×Konel

作品審査員：展覧会出品作品の中から、次の審査員によって、グランプリ及び準グランプリを決定します。
青木 淳（京都市京セラ美術館館長）
赤松 玉女（京都市立芸術大学学長）
飯田 志保子（国際芸術祭あいち2022チーフ・キュレーター（学芸統括））
久能 祐子（京都大学理事）
徳井 直生（株式会社Qosmo代表取締役／慶應義塾大学准教授）

表 彰 一 覧：グランプリ　1作品（賞金200万円）
準グランプリ　1作品（賞金100万円）
オーディエンス賞　1作品（賞金20万円）　※オーディエンス賞は来場者の投票で決定します。

■STEAM Dialogue

「KYOTO STEAM 2022　国際アートコンペティション」に出展するアーティストと企業・研究機関が、コラボレーションの過程や出品作品などについて語る動画を作成し、KYOTO STEAM公式Youtubeチャンネルで随時公開しています。
ぜひご覧ください。

◆　大西 康明 × 福田金属箔粉工業株式会社（提供：金属箔・金属粉）

《虚実の距離》2019年
（撮影：表恒匡、提供：高松市美術館）

金属粉

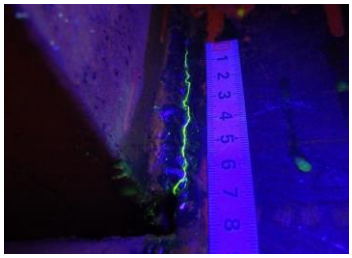
◆　金森 由晃 × 株式会社フジックス（提供：糸）

《Memory of sense》
2019年

糸

◆　金子 未弥 × 有限会社丸重屋（提供：非破壊検査の技術と知見／検査データ）

《未発見の小惑星観測所》2020年
（撮影：笠木靖之）



非破壊検査　点検画像

◆　川松 康徳 × 国立研究開発法人理化学研究所植物-微生物共生研究開発チーム
（提供：植物ー微生物ー土壌がかたちづくる農業生態系についての知見）

《danae/secang rain》2020年

菌根菌の顕微鏡画像

アートコンペティション出展者紹介2　　※各出展者の略歴等は公式WEBをご覧ください。

◆　興梠 優護 × 株式会社堀場製作所（提供：分光器等で得られた画像データと測定に関する知見）

《/ 72》2017年

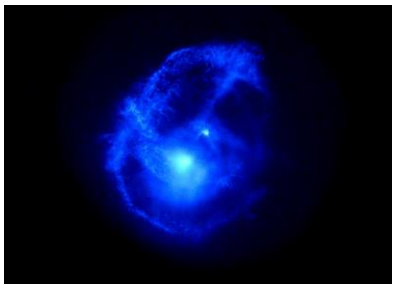
X線分析顕微鏡を用いた浮世絵の分析

◆　佐藤 壮馬 × KYOTO's 3D STUDIO株式会社
（提供：3Dスキャナーによって得られたデータ及び3Dスキャナーに関する知見）

《You see the view from nowhere》2019年

くろ谷　金戒光明寺　吉備観音
3Dスキャンの様子

◆　Kikoh Matsuura × 株式会社島津製作所（提供：脳機能イメージング技術）



《New Aspect of the World》2019年

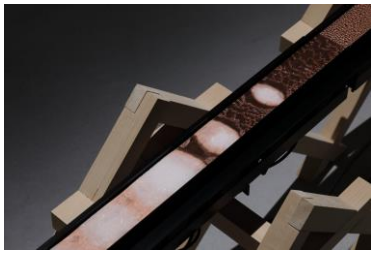
液体クロマトグラフ質量分析計

◆ 三木 麻郁 × 国立病院機構新潟病院臨床研究部医療機器イノベーション研究室（提供：3Dプリント人工呼吸器に関する知見と造形サンプル）

《3月11日にしゃぼん玉を飛ばしながら、歩いて家に帰る》
2020年（撮影：松尾宇人）

「電子メール人工呼吸器」
（©2017 NASA / STONY & Co., All Rights Reserved）

◆ 三原 聡一郎 × mui Lab（提供：mui ボードとセンター技術とカスタムソフトウェア）

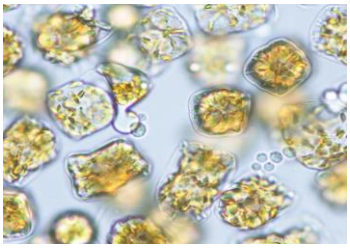


《無主物》2020年
（撮影：木奥惠三、
写真提供：日産アートアワード）

三角みづ紀･oblaat × mui Lab･ワコム《柱の記憶》

◆ 宮田 彩加 × 株式会社SeedBank（提供：微細藻類に関する知見とデータ）

《MRI SM20110908》2016年
（撮影：麥生田兵吾）



培養細胞

◆ 山崎 阿弥＋マイケル・スミス-ウェルチュ × Konel（提供：「ゆらぎ壁」に関する知見と技術）

《島膜》2019年
（写真提供：瀬戸内国際芸術祭2019）

《TOU - ゆらぎかべ》2020年

11

STEAM THINKING-未来を創るアート　京都からの挑戦

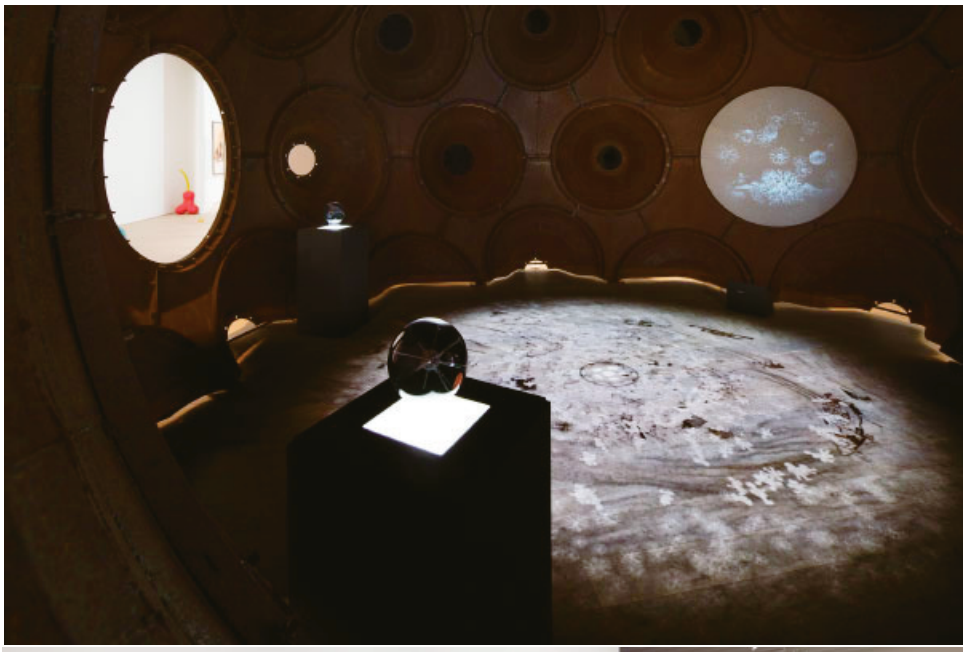
Art × Science GIG

概　　要：2018年度より京都市内の芸術系大学を拠点に、アーティストとサイエンティストが協力して実施してきたワークショップ「STEAM THINKING LABO」の総括的作品展です。「STEAM THINKING LABO」は3年間にわたり「科学技術にできることの素晴らしさより、できないことの価値に向き合う」「科学技術でみえるものの魅力より、みえないものの深淵を探る」という探究を極め、一般的なものづくりの型から意図して離れようと挑戦してきました。その成果を展覧する本展は、アートとサイエンス・テクノロジーの新たな視座や「問い」を発見する機会になるでしょう。

開催日時：（1）京都芸術大学　　2021年12月23日（木）～12月27日（月）10:00～18:00
（2）京都市立芸術大学 2022年1月28日（金）～2月1日（火）10:00～18:00
会　　場：ロームシアター京都 パークプラザ3F第1会議室

対　　象：どなたでも
料　　金：無料
申　　込：不要

出　展　者：（1）京都芸術大学 × 株式会社SeedBank・木元 克典（海洋開発研究機構）・仲村 康秀（島根大学）
（2）京都市立芸術大学 × 京セラ株式会社みなとみらいリサーチセンター・塩瀬 隆之（京都大学総合博物館准教授）・富田 直秀（京都大学名誉教授、京都市立芸術大学客員教授）



昨年度の GIG の様子　上：京都芸術大学、下：京都市立芸術大学

12 いのちが高まる茶室　～こどもたちとの協奏～

概　　要：こどもたちが、建築家や芸術家と共に茶室を創作する参加型プログラム。多様なメンバーで「茶室」の本質を改めて考え、こどもたちも含めた、みんなで共に自分たちなりのお茶の世界を作り出すことに挑戦します。お茶をいただくという体験、そして茶室および茶室に至るまでの空間体験を通して、「今」の、そしてちょっと「未来」の茶室を模索します。

■(1) いのちが高まる茶室 ～こどもたちとの協奏～（お茶会準備からお片付けまで）

20名のこどもたち（小中高生）が、中島 さち子氏をはじめ、建築家チームやメディアアートコミュニティの世界メンバーといった多様な分野の人たちと共に、「今」あるいはちょっと「未来」の茶室を模索しながら、実際に現地に１つの茶室を作りあげます。

開 催 日 時：2022年1月6日(木)－7日(金)　両日①09:30～12:30　②14:30～17:30（参加回を選択）
2022年1月8日(土)　10:00～18:00のうち、1時間程度

対　　象：小学生～高校生（6・7・8日全て参加可能な方）

料　　金：2,000円（6・7・8日の通し料金）

■(2) いのちが高まる茶室 ～こどもたちとの協奏～（お茶会）

こどもたちと作り上げた「いのちが高まる茶室」において、お茶会を体験していただきます。茶室に至る路地も、茶室世界の一部。「うつろい」をテーマとした路地を通り抜けながら、光や水、人、音のうつろいを楽しみつつ、時にはちょっとした光の遊びやテクノロジーの遊びとともに、お茶やお花や人や自然やものとの共創空間をお楽しみいただけます。

開 催 日 時：2022年1月8日(土)　10:00～12:00、13:00～18:00（１時間ごとに最大6組）

対　　象：どなたでも

料　　金：1,000円/組（1組2名まで）

申　　込：「Peatix」専用申込フォームから申し込み。　申込期間：11月23日（火）～12月9日（木）

会　　場：ロームシアター京都 1F プロムナード

全 体 企 画：中島さち子（（株）steAm代表：音楽×数学×STEAM教育、大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー），
小堀哲夫（小堀哲夫建築設計事務所）

全 体 監 修：伊住宗陽(裏千家)、松山大耕（妙心寺退蔵院副住職）、上田信行（同志社女子大学名誉教授）

空間構成制作：小堀哲夫建築設計事務所（小堀哲夫、木岡加奈子）

メディアアート制作：ニューヨーク大学Tisch芸術学部ITPコミュニティ
中島さち子（東京）、Chenhe Zhang（北京）、Son Luu（NY）、小宮慎之助（NY）、明石もも（NY）

バレエダンサー：針山えみ

記　　録：井上恵斗（steAmバンビ）秋月一絵子（steAmバンビ）
他、多数のsteAmバンドメンバー（鈴鹿剛・大山口菜都美・奥地大容他）と、こどもたち！

協　　力：小堀哲夫建築設計事務所、ニューヨーク大学Tisch芸術学部ITP、インターオフィス、杉原商店

共 同 主 催：株式会社steAm

中島さち子